



# さしつ子便り

唐津市立佐志小学校  
学校だより 第16号  
令和7年11月14日(金)  
文責:校長 平山美代子

学校教育目標 「わたしらしく あなたらしく 輝くさしつ子」~気づき・考え・実行する子どもの育成~

## 『玉の如き 小春日和を 授かりし』 松本たかし

寒さの中に、貴重な暖かい小春日和を授かり、宝石のように作者は感じたという意味。

唐津くんちが終わると、唐津にも冬がやってきたなど毎年、私は感じます。

<11月の全校朝会の話> 「リフレーミング」 ~見方をかえると短所も長所にかわる~

11月は「リフレーミング」というお話をします。苦手なこと、人より劣っているなあと感じること、得意でないこと、自信がもてないことが私たちにはあります。それを「コンプレックス」と言います。

「ドラえもん」を知っていますか。特徴は? たくさんの特徴がありますが、ドラえもんの声のことを話します。ドラえもんの声を担当している声優さんは、昨年亡くなられましたが、大山のぶよさんという方です。大山さんは、小さい頃から、名前を呼ばれて返事をすると、みんなに笑われました。男の子みたい、しゃがれた声、変な声、いつも周りの人に声のことで、ばかにされ、いじめにあいました。私って変な声などと、だんだん人前で声を出すことがいやになったといいます。

そんな大山さんを見て、お母さんが、大山さんに言いました。「声が変だからといって、その弱いところをかばっていたらもっと弱い人になってしまう。声を出すような部活動をしなさい。」と。そこで、高校では放送研究部に入りました。その後ラジオドラマなどを制作し、大山さんの声がよい意味で注目され、人気が出てきたことで、「ああ、わたし、この声でいいんだ」とコンプレックスだった自分の声が好きになり、自信をもてるようになりました。そして、数年後、多くの人に愛される国民的キャラクターのドラえもんが生まれたのです。

このように、多くの人がもっているコンプレックスですが、見方をかえると短所も長所だと考えることもできます。見方をえて、自分や周囲の人々のことをもっともつと好きになってみませんか。例えば声が大きい→明るく元気、なれなれしい→フレンドリー、お節介→よく気づく人、おとなしい→慎重な人など。11月はリフレーミングのお話をでした。

## 入賞おめでとう

◆令和7年度 学童美術展地区審査 11/7 審査

〈特選〉 2年

4年

6年

〈入選〉 1年

2年

3年

4年

5年

6年

◆第41回全国小学生陸上競技交流大会 11/2

〈男女混合 4×100m リレー〉 記録 51秒33

決勝 4位 5年

さん出場 \*佐賀県選抜

## 12月行事予定

1(月) 読書タイム、心のアンケート週間  
えいごであそぼう (1・2年)

委員会活動

2(火) スキルタイム、4年九電出前授業

3(水) フッ素洗口

4(木) スキルタイム

8(月) 読書タイム、えいごであそぼう (1・2年)  
ハッピーしろうおタイム

全校 14:45 下校

9(火) スキルタイム

10(水) フッ素洗口

11(木) スキルタイム

12(金) 学年朝会

15(月) 大掃除週間、読み聞かせ、  
クラブ活動 (3年クラブ見学)

16(火) スキルタイム、6年親子レク④、  
2年親子レク①、

4年セラピューティックケア

授業参観【1~3年⑤、4~6年⑥】

17(水) フッ素洗口

18(木) スキルタイム、スクールカウンセラー来校  
6年薬物乱用防止教室、5年海の環境学習

20(土) さし食堂

24(水) 終業式 全校 13:10 下校

## 芸術の秋 11/11 とんとこ一座「大道芸」鑑賞



◆かさの上でボールが回るのがすごい。  
またきてね。(3年 さん)

◆剣の上でこまをまわすのがすごかった。  
たのしかった。(3年 さん)

## 10/21 芸術の秋「アルモニア管弦楽団」コンサート



◆アルモニア管弦樂團の音楽を鑑賞しました。どの楽器にも個性があって、わくわくしました。私が一番心に残ったのは、一番最初にひいてもらったモーツアルトさんの曲が心に残りました。迫力満点で音楽がもっと好きになりました。

(4年 ん)

◆楽器がいっぱいありました。弦樂器はヴァイオリン、チェロとコントラバスがありました。楽器が大きくなるにつれて、音が大きくなっていました。ぼくが一番好きだった楽器は、チェロです。教科書で見たことはあるけど、想像より大きくてびっくりしました。歌っていた人も声がひびいて美しいかったです。

(5年 さん)